

単元名：おみせやさんにいこう！

— おおきいかず —

本単元で育成する資質・能力 思考力・判断力・表現力等

1 日 時 令和3年2月5日（金）第5校時（13：00～13：45）

2 場 所 1年1組 教室

3 学年・組 1年1組（男子16名，女子13名 計29名）

4 単元設定の理由

(1) 単元観

本単元は、小学校学習指導要領，第1学年の内容「A 数と計算」「(1) 数の構成と表し方」「(2) 加法，減法」を受けて設定している。

(1) 数の構成と表し方

ア 知識及び技能

- (ア) ものとももの対応させることによって，ものの個数を比べること。
- (イ) 個数や順番を正しく数えたり表したりすること。
- (ウ) 数の大小や順序を考えることによって，数の系列を作ったり，数直線の上に表示したりすること。
- (エ) 一つの数をほかの数の和や差としてみるなど，ほかの数と関係付けてみること。
- (オ) 2位数の表し方について理解すること。
- (カ) 簡単な場合について，3位数の表し仕方を知ること。
- (キ) 数を，十を単位としてみること。
- (ク) 具体物をまとめて数えたり等分したりして整理し，表すこと。

イ 思考力，判断力，表現力等

- (ア) 数のまとまりに着目し，数の大きさの比べ方や数え方を考え，それらを日常生活に生かすこと。

(1) 加法，減法

ア 知識及び技能

- (エ) 簡単な場合について，2位数などについても加法及び減法ができることを知ること。

イ 思考力，判断力，表現力等

- (ア) 数量の関係に着目し，計算の意味や計算の仕方を考えたり，日常生活に生かしたりすること。

第1学年でのこれまでの学習では，数のまとまりに着目しながら，数範囲を10から40までと段階的に拡張し，数の構成と表し方を考え，集合数について学習を行ってきた。2位数とは，10のまとまりの個数と端数ととらえることを基にして表されていることを理解してきた。さらに，「10といくつ」という20までの数の構成を和や差でとらえ，加減計算を活用して式に表現することによって，20までの数についての理解を確実なものにしてきた。

本単元では，2位数や簡単な3位数について，個数の数え方や読み方，書き方，数の構成などを理解し，10を単位として数をとらえる力及び数の構成に着目して数の計算の仕方を考える力を養うことをねらいとしている。数のまとまりに着目させ，十進位取り記数法の原理の基礎的な理解を図ることで，数の大小についての判断や簡単な場合の2位数の加減計算の仕方を考えることで，第2学年以降の学習につなげていく。

第2学年では，数範囲を1000まで拡張して数の構成について学習していく。また，本単元で学習した十進位取り記数法の概念を基に，筆算形式に四則計算の学習を行っていく。

6 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力
2位数や簡単な3位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、120程度までの数を数え数字を読んだり書いたり、2位数の数の構成を加法や減法の式に表すことができている。	既習の数の表し方の仕組みを基に、120程度までの数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、簡単な場合の2位数の加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。	数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

7 指導と評価の計画（全15時間）

時間	学習活動	評価規準（評価方法）		
	☆学習スパイラル（6つ）を明記	知識・理解	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力
1・2	<ul style="list-style-type: none"> 2位数の数え方、唱え方や、位取りの原理と記数法を理解する。 <p>課題の設定 情報の収集</p>	◎位取り記数法は書く位置の違いを利用して表していることを理解し、2位数をかくことができている。（ノート・発表）		○既習を基に、2位数の数え方や読み方、書き方などを考えようとしている。（ノート・発表）
3・4	<ul style="list-style-type: none"> 2位数の数え方の理解を確実にする。 <p>情報の収集</p>	○40より大きい個数を10ずつまとめて数えることができている。（ノート・発表）	◎「10のまとまりがいくつと端数がいくつ」という数の見方を活用して、ものの数の数え方を考え説明している。（ノート・発表）	
5	<ul style="list-style-type: none"> 2位数の構成を理解する。 <p>情報の収集 整理・分析</p>	○2位数の構成を理解し、数の構成を表すことができている。（ノート・発表）	○2位数を、位取り表に対応して10のまとまりの数と10未満の数の合成として考え、言葉や位取り板、ブロックなどを用いて説明している。（ノート・発表）	
6	<ul style="list-style-type: none"> 100の唱え方、読み方、書き方を理解する。 <p>情報の収集</p>	○10が10こ集まると100になることを理解している。（ノート・発表）		
7	<ul style="list-style-type: none"> 数表から数の並び方の規則性をとらえ、数の規則性や構成を説明することができる。 <p>情報の収集 整理・分析</p>		○位の数字に着目するなどして数表の数の並び方のきまりを考え、言葉などで説明している。（ノート・発表）	
8	<ul style="list-style-type: none"> 100までの数の系列や大小を理解する。 <p>情報の収集 整理・分析</p>	○数直線の数を対応づける活動を通して、数の系列、大小を理解し、数直線を使って数を読んだり表したりすることができている。（ノート・発表）		

9	<ul style="list-style-type: none"> ・具体物を数えることを通して、120 程度までの数の唱え方や系列を理解する。 <p>情報の収集 整理・分析</p>	<p>○100 より大きい数について、100 と1～2位数の合成ととらえればよいことを理解し、100 より大きい数を数えたり唱えたりすることができている。(ノート・発表)</p>		
10	<ul style="list-style-type: none"> ・2位数の数の構成(何十といくつ)を基にした加減計算の仕方を理解し、その計算ができる。 <p>課題の設定 情報の収集</p>	<p>○$30+4$、$34-4$などの計算は、数構成(何十といくつ)を基に考えればよいことを理解し、その計算ができている。(ノート・発表)</p>		
11	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し上がりや繰り返し下がりのない2位数と1位数の加減計算の仕方を、数の構成に着目して考え、説明することができる。 <p>情報の収集 整理・分析</p>	<p>○$25+3$、$28-3$などの計算の仕方を理解し、計算することができている。(ノート・発表)</p>	<p>◎数の構成に着目して、$25+3$、$28-3$などの計算の仕方を考え、操作や図などを用いて説明している。(ノート・発表)</p>	
12	<ul style="list-style-type: none"> ・2位数の数の構成(10がいくつ)を基にした何十±何十の計算の仕方を理解し、その計算ができる。 <p>情報の収集 整理・分析</p>	<p>○何十±何十の計算の仕方を理解し、計算することができる。(ノート・発表)</p>	<p>◎何十±何十の計算の仕方を、10を単位として考え、具体物や言葉を用いて説明している。(ノート・発表)</p>	
13	<ul style="list-style-type: none"> ・2位数の数の構成を基にして、100の構成について加法計算を通して考えることができる。 <p>(本時) 整理・分析 実行</p>		<p>○10を単位として考える計算の仕方を基にして、100ちょうどになる計算を考え説明している。(ワークシート・発表)</p>	
14 ・ 15	<ul style="list-style-type: none"> ・単元の学習を日常生活に活用して、問題を解決する。 <p>まとめ 振り返り</p>		<p>○学習内容を適切に活用して問題を解決している。(ノート・発表)</p>	<p>◎身の回りにあるものの数に興味をもち、単元の学習を活用しながらその数を数えようとしている。(ノート・発表)</p>

8 本時の展開

(1) 本時のめあて(目標)

100円ちょうどになる組み合わせを考え、100の構成についての豊かな感覚をもつことができる。

(2) 観点別評価規準

○10を単位として考える計算の仕方を基にして、100ちょうどになる計算を考え、式に表している。

評価方法：発表 ワークシート

(3) 本時で育成したい資質・能力の評価基準（達成した児童の姿）

資質・能力	評価基準(達成した児童の姿)
思考力・ 判断力・ 表現力等	<p>A 10 を単位として考える計算の仕方を基にして、100 ちょうどになる計算をいろいろな組み合わせで考え、式に表している。</p> <p>B 10 を単位として考える計算の仕方を基にして、100 ちょうどになる計算を考え、式に表している。</p> <p>C 課題を解決することができない。</p>

(4) 学習の展開


	学習活動 ・児童の思考の流れ学習スパイラル	指導上の留意事項（・） （支援の具体的UD）	○評価規準 （評価方法）																
導入	<p>1 問題提示 課題の設定</p> <p>おかしをかいます。百円だま1まいでおつりが出ないようにするには、どのようにかえばよいでしょうか。</p> <table border="1"> <tr><td>チョコ</td><td>20円</td></tr> <tr><td>あめ</td><td>30円</td></tr> <tr><td>グミ</td><td>40円</td></tr> <tr><td>ビスケット</td><td>50円</td></tr> <tr><td>せんべい</td><td>60円</td></tr> <tr><td>ソフトクリーム</td><td>70円</td></tr> </table>	チョコ	20円	あめ	30円	グミ	40円	ビスケット	50円	せんべい	60円	ソフトクリーム	70円	<ul style="list-style-type: none"> 商品ごとに分けて提示することで、実際に店で買い物をする場面を想起させる。 それぞれ値段が違う商品があることをおさえ、児童のいろいろな買い方を見つけたいという意欲を高める。 					
	チョコ	20円																	
あめ	30円																		
グミ	40円																		
ビスケット	50円																		
せんべい	60円																		
ソフトクリーム	70円																		
<p>2 気付きの交流 情報の収集 整理・分析</p> <p>いろいろなねだんのおかしがあるよ。 2つや3つかえそうだな。 おつりが出ないということは100円ぴったり買わないといけないね。</p> <p>3 解決への見通し立て 情報の収集</p> <p>たし算をつかえばいい。 10がいくつ分かだと考えると、計算も簡単だ。 100は10が10こ集まった数だから…。</p> <p>4 めあての作成 課題の設定</p> <p>めあて 100ぴったりになるくみあわせかたをかんがえよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「おつりが出ない」ということは、合計が100円ぴったりにならないといけないことに気付かせる。 3つ以上買ったり、同じ品物を複数買ったりする考え方についての意見を積極的に取り上げ、組み合わせ方が複数あることを確認する。 (何十) + (何十) で計算する際、どのように考えれば簡単か問いかけることで、前時までの「10がいくつ分か」や「十の位だけを見る」などの既習を確認する。 																		
展開	<p>5 個の学び 情報の収集</p> <p>○100円ちょうどになるおかしの組み合わせを考え、立式する。</p> <p>【2つ買う】</p> <table border="1"> <tr> <td>あめ</td> <td>ソフトクリーム</td> <td>グミ</td> <td>せんべい</td> </tr> <tr> <td>30円</td> <td>70円</td> <td>40円</td> <td>60円</td> </tr> </table> <p>【3つ買う】</p> <table border="1"> <tr> <td>チョコ2つ</td> <td>せんべい</td> <td>チョコ</td> <td>グミ2つ</td> </tr> <tr> <td>20円20円</td> <td>60円</td> <td>20円</td> <td>40円 40円</td> </tr> </table>	あめ	ソフトクリーム	グミ	せんべい	30円	70円	40円	60円	チョコ2つ	せんべい	チョコ	グミ2つ	20円20円	60円	20円	40円 40円	<ul style="list-style-type: none"> 児童一人ひとりに品物のカードを渡し、カードを並べながら100円になる組み合わせを考えさせる。 ワークシートの10円玉10個の図に、自分が選んだ品物の代金分を囲ませていくことで、100円の買い物ができたか確認させる。 組み合わせ方を見つけにくい児童には、10のいくつといくつを想起させて考えさせたり、品物のカードと10円玉をいっしょに操作させながら考えさせたりする。 	
あめ	ソフトクリーム	グミ	せんべい																
30円	70円	40円	60円																
チョコ2つ	せんべい	チョコ	グミ2つ																
20円20円	60円	20円	40円 40円																

	<p>【4つ買う】 【5つ買う】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>チョコ2つ あめ2つ 20円20円30円30円</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>チョコ5つ 20円20円20円20円20円</p> </div> </div> <p>6 集団解決 整理・分析</p> <p>【ペアでの学び】</p> <p>○自分が考えた買い方をペアで交流し合う。</p> <p>【全員での学び】</p> <p>○考えを出し合い、交流する。</p> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくは、グミとせんべいを買ったから、$40+60=100$になったよ。 ・3つ買う買い方は、$20+30+50=100$ができる。 ・20円のチョコだと、$20+20+20+20+20=100$となるから、5個も買える。 ・たくさんおかしを買うときも、10がいくつ分かであれば、簡単な計算でできる。 </div> <p>8 学習課題のまとめ</p> <p style="text-align: center;">まとめ・創造・表現</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>まとめ 100 ちょうどのなるかずのくみあわせかたはいろいろある。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・買った品物の数が少ない組み合わせ方から発表させ、いろいろな組み合わせ方があることを実感させる。 ・3つ以上の組み合わせ方は、どのように考えると簡単に計算できるのか問いかけることで、10がいくつ分かであればよいことを確認する。 <p>○10を単位として考える計算の仕方を基にして、100ちょうどのなる計算を考え、式に表している。(ワークシート・発表)</p>											
	<p>9 適応問題</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>三はらマーケットにいきました。百円ぴったりになるかいかたを見つけましょう。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 2px;">あめ</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">20円</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">キャラメル</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">30円</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">ラムネ</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">40円</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">スナック</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">50円</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">クッキー</td><td style="text-align: right; padding: 2px;">60円</td></tr> </table> </div>	あめ	20円	キャラメル	30円	ラムネ	40円	スナック	50円	クッキー	60円	<ul style="list-style-type: none"> ・板書を見るように声をかけることで、3つ以上買う場合の買い方などにも進んで取組ませ、100円ちょうどのなる組合せ方を考えさせる。 	<p>○10を単位として考える計算の仕方を基にして、100ちょうどのなる計算を考え、式に表している。(ワークシート・発表)</p>
あめ	20円												
キャラメル	30円												
ラムネ	40円												
スナック	50円												
クッキー	60円												
<p>ま と め</p>	<p>10 振り返り</p> <p style="text-align: center;">振り返り</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習をノートに振り返らせる。 											

9 板書計画

おみせやさんにいこう！
2/5 おおきいかず

④ おかしをかいます。
百円だま1まいでおつりが出ないようにするには、どのようにかえばよいでしょうか。



⑤

- ・2つや3つかえそう。
- ・おつりが出ない
→100円ぴったり
- ・100は10が10こ


⑥ 100ぴったりになるくみあわせかたをかんがえよう。

2つ		3つ		4つ		5つ	
あめ 77円40円	30円 70円	チョコ2つ せんべい	20円20円 60円	チョコ2つ あめ2つ	20円20円30円30円	チョコ5つ 20円20円20円20円20円	
グミ せんべい	40円 60円	チョコ グミ2つ	20円40円 40円	チョコ3つ ぐみ	20円20円20円40円		
せんべい2つ	50円 50円	チョコ あめ せんべい	20円30円50円				
		あめ2つ グミ	30円30円40円				

⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩ ⑩

⑦ 100ちょうどになるかずのくみあわせかたはいろいろある。

⑧ 三はらマーケットにいきました。
百円ぴったりになるかいかたを見つけましょう。



20円 30円 40円 50円 60円

・40円+60円=100円

・20円+30円+50円=100円

⑨